

アイ' エムセップ株式会社

京都府京田辺市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

溶融塩を利用した電気化学の研究開発型ベンチャーとして、基礎研究から量産技術開発まで幅広く対応

- 溶融塩に関する独自技術の実用化・事業化と、付加価値向上によるイノベーションの創出を実現
- 溶融塩電気化学プロセスに関する知見を活かした技術開発により、高い競争力・優位性を維持
- 同分野のエキスパートとして、民間企業や公的機関との共同研究や技術指導をリード

企業基本情報

所在地	京都府京田辺市興戸地蔵谷 1 番地 D-egg310
電話 / FAX	0774-63-2051 / 0774-63-2051
URL	http://www.imsep.co.jp/
代表者	代表取締役社長 伊藤 靖彦
設立	2006 年
資本金	3,500 万円
従業員数	12 人



会社概要

溶融塩（塩が融解してできた、イオン性を帯びた液体）を利用した電気化学プロセスに関する研究を行っており、数多くの特許技術を保有している大学発のベンチャー企業。燃料電池などのエネルギー変換デバイスや様々な機能材料の製造に活用されており、環境・エネルギー等の分野において今後一層の活用が期待されている。また、大手企業や海外展開に向けた販路拡大に努めている。



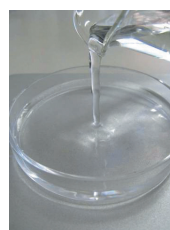
会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

独自技術の実用化・事業化に伴うイノベーションの創出

これまで培ってきた溶融塩を利用した電気化学プロセスに関する研究成果を環境・エネルギー・資源・ナノテクノロジーの分野に積極的に活用することにより、付加価値の向上に資する取組を行っている。

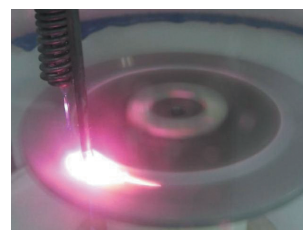
これまで蓄積してきた独自技術の実用化・事業化にあたって、各大学、民間企業及び行政機関との共同研究や共同開発を通じて、溶融塩電気化学プロセスに関する豊富な知見の提供が我が国のイノベーションを支える取組となっている。



溶融塩

溶融塩電気化学プロセスに関する知見を活かした技術開発

電気化学リアクター・電子デバイスの研究開発をはじめ、溶融塩電気化学プロセスの研究・開発、技術指導等を展開。導電性・耐食性の高い「炭素めっき技術」や各種金属ナノ粒子等の製造実用化に向けた「プラズマ誘起電解による金属ナノ粒子製造技術」、独自の二機能性電極を用いる「金属リサイクル技術」、さらに、ハーバーボッシュ法を凌駕する「水と窒素からの常圧アンモニア電解合成技術」など、各種材料の高機能化や新材料・新プロセスの創製に取組んでいる。



プラズマ誘起カソード電解の様子

大学の教授として長年同分野で研究を続けてきたエキスパート

京都大学や同志社大学教授として培ってきた研究成果を実用化・事業化するために、大学時代の教え子 2 名を加えて同社を設立し代表取締役に就任。環境・エネルギー分野等での活用を目指して、民間企業や公的機関との共同研究や技術指導をリードするなど、積極的に独自技術の提供を実施している。

大学・民間企業・行政機関をつなぐ“懸け橋”として、地域における雇用の受け皿となることで地域活性化にも貢献。

